

研修会報告

平成30年8月7日
文責：真山 晃史

研修会名：遺伝子検査部門研修会

テーマ：「遺伝子検査 最近の話題」

日時：平成30年8月4日（土） 14：00～17：00

会場：東北大学医学部1号館 第1講義室

参加者：36名《会員30名、賛助会員4名、非会員2名（医師1名、カード忘れ1名）》

内容：

【講演1】座長：石巻赤十字病院 峯村 洋行

「がん診療における遺伝子検査」

講師：シスメックス株式会社

【講演2】座長：東北医科薬科大学病院 小堀 利恵

「臨床検査としての遺伝子検査」

①血液疾患編

講師：東北大学病院 鈴木 千恵

②固形腫瘍・遺伝学的検査編

講師：国立病院機構仙台医療センター 真山 晃史

【講演3】座長：東北大学病院

「細胞が増えるしくみを知ろう～細胞増殖に関係する遺伝子と細胞周期～」

講師：宮城県立がんセンター 竹内 美華

今年度第1回となる研修会を「遺伝子検査 最近の話題」として開催した。講演1として、シスメックス株式会社の黒山滉平氏が「がん診療における遺伝子検査」という演目で近年話題となっている循環腫瘍細胞DNA (ctDNA) の解析法 (BEAMing法) について講演した。遺伝子の基礎から最新のトピックスまで紹介してもらい、参加者にとって興味深い講演であったと思われる。講演2は「臨床検査における遺伝子検査」として東北大学病院の鈴木技師に血液疾患編を、仙台医療センターの真山技師に固形腫瘍・遺伝学的検査編について講演してもらった。鈴木技師は血液疾患の中でも慢性骨髄性白血病 (CML) における遺伝子検査について講演し、定性PCR法によるBCR-ABL1融合遺伝子の検出を実際の症例とともに解説した。真山技師は固形腫瘍における遺伝子検査と遺伝学的検査に関する診療報酬について触れ、各項目の解説や注意点について講演した。両技師の講演は近年話題となっている内容だけでなく、基礎技術的な内容も盛り込んでいたため、遺伝子検査に従事していない技師だけでなく、ルーチン業務として行っている技師にとっても技術の復

習となり、有意義な講演であったと思われる。講演3では竹内技師に分子生物学の基礎的な内容として細胞増殖に関する遺伝子と細胞周期について解説してもらった。分子標的薬を理解するためには細胞シグナル経路とその異常を理解する必要があるため、本講演は臨床と遺伝子検査の関連を知る上でとても重要な講演となった。今後も技術や臨床的な内容だけでなく、分子生物学の内容に関する講演を随時行っていきたいと考える。

遺伝子検査は宮城県だけでなく東北地方であまり浸透していない分野であるため、今後多くの技師会主催の遺伝子検査研修会を企画することで、宮城県における遺伝子検査の普及に努めていきたい。